



利企第61号
平成19年5月8日

国土交通省道路局長 殿

利府町長 鈴木 勝 雄



中期的な計画の作成にあたっての意見について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについては、別紙1及び別紙2のとおりです。

担 当：
企画課まちづくり推進班
伊藤、村田
TEL 022-767-2113
FAX 022-767-2100
E-mail machidukuri@rifu-cho.com

(別紙 1) 道路特定財源の一般財源化等に関する意見

当町の道路整備状況と道路特定財源状況は、歳出の土木費における投資的経費（普通建設事業費土木費分）については、平成 18 年度決算ベース（見込み）で約 13 億 2 千万円、一方、歳入における道路特定財源である地方道路譲与税、自動車重量譲与税、自動車取得税交付金の合計は約 1 億 8 千万円という状況下であり、国において道路整備における地方の財源は、道路特定財源及び地方交付税等で所要の措置がなされているとは言うものの、市町村の実態としては、道路整備の半分以上が一般財源で賄われている状況下である。

このことから、地方の道路整備における財源は不足しており、国において道路特定財源ですべての道路整備予算を賄っている状況であるならば、地域住民が真に必要としている道路整備や維持管理事業の重要性・必要性を認識し、余剰分を地方に対し税源移譲（移譲財源の増等を含む）していただきたい。

また、道路特定財源の一部の税源移譲を不可とするのであれば、「中期的な計画」中「地方の道路整備目標」の中に地方公共団体が実施する「真に必要な道路整備事業の目標」を盛り込んでいただきたい。

(別紙2) 道路の整備に関する要望

(1) 国道45号(利府町赤沼字中倉、浜田地内及び赤沼字櫃ヶ沢地内)の歩道設置及び路面嵩上げについて

赤沼字中倉地内の塩竈市界から須賀第一トンネルまでの区間及び赤沼字櫃ヶ沢地内の浜田トンネルから松島町界までの区間には、歩道がなく近年自動車の通行量が増加し、特に大型車両の通行が多くなりすれ違い時には歩行者が大変危険な状況となっております。既に、中倉地内については、歩道の設置及び路面の嵩上げ工事が着手されておりますが、高潮時に道路が冠水することも度々ありますので、早期整備が図られますよう要望いたします。

また、赤沼字浜田地内の須賀第二トンネルから浜田トンネルまでの区間には、部分的に歩道が設置されておりますが、住宅も密集している区間でもありますので、道路両側に歩道の設置をして頂きますよう要望いたします。

(2) 越の浦春日線(三陸縦貫自動車道利府中ICから国道45号)の早期全線開通について

宮城県では、仙台空港及び仙台港の国際化に向けた整備とともに、その周辺の国際交流拠点の整備を進めております。これらの拠点と各地域を結ぶ三陸縦貫自動車道も河北～亘理間が開通し、国際交流・広域連携等その役割も日々増大しており、関連するアクセス道路の整備が急務となっております。

越の浦春日線は、仙台都市圏の多角型都市構造を支える交通体系の放射状幹線道路網に位置付けされた重要路線であり、三陸縦貫自動車道利府中ICから国道45号に直接アクセスする都市計画道路(L=3,940m、W=25m)として、産業振興、観光振興、物流を支える地域経済の活性化にかかすことのできない路線となっており、全体計画延長3,940mのうち「しおりふれあいトンネル」を含む2,000mの区間が塩竈市・利府町による「交流ふれあいトンネル・橋梁整備事業」により整備され、平成13年3月に一部供用開始し、平成18年3月には県道への昇格移管を行っております。残る区間1,940mにつきましても宮城県土木行政推進計画において重要路線として位置付けされており、引き続いての整備が計画されております。

つきましては、国道45号までの全線の早期整備が図られるようご支援をお願いいたします。

(3) 仙台北部道路（しらかし台 IC から富谷ジャンクション）の早期完成について

仙台北部道路は東北縦貫自動車道から三陸縦貫自動車道を結び仙台東部道路及び仙台南部道路とともに、仙台都市圏における高速交通の外環状線を形成する高規格幹線道路であり、仙台広域圏における交通網の重要な役割を担っております。

また、仙台都市圏と仙台国際空港や仙台国際貿易港へのアクセス道路の機能も有しており、広域的な交流の活発化や仙台都市圏の国際的な発展も期待されております。

これらのことから、国道4号及び富谷ジャンクションまでの事業の早期完成と、全線の早期整備が図られますよう要望いたします。